

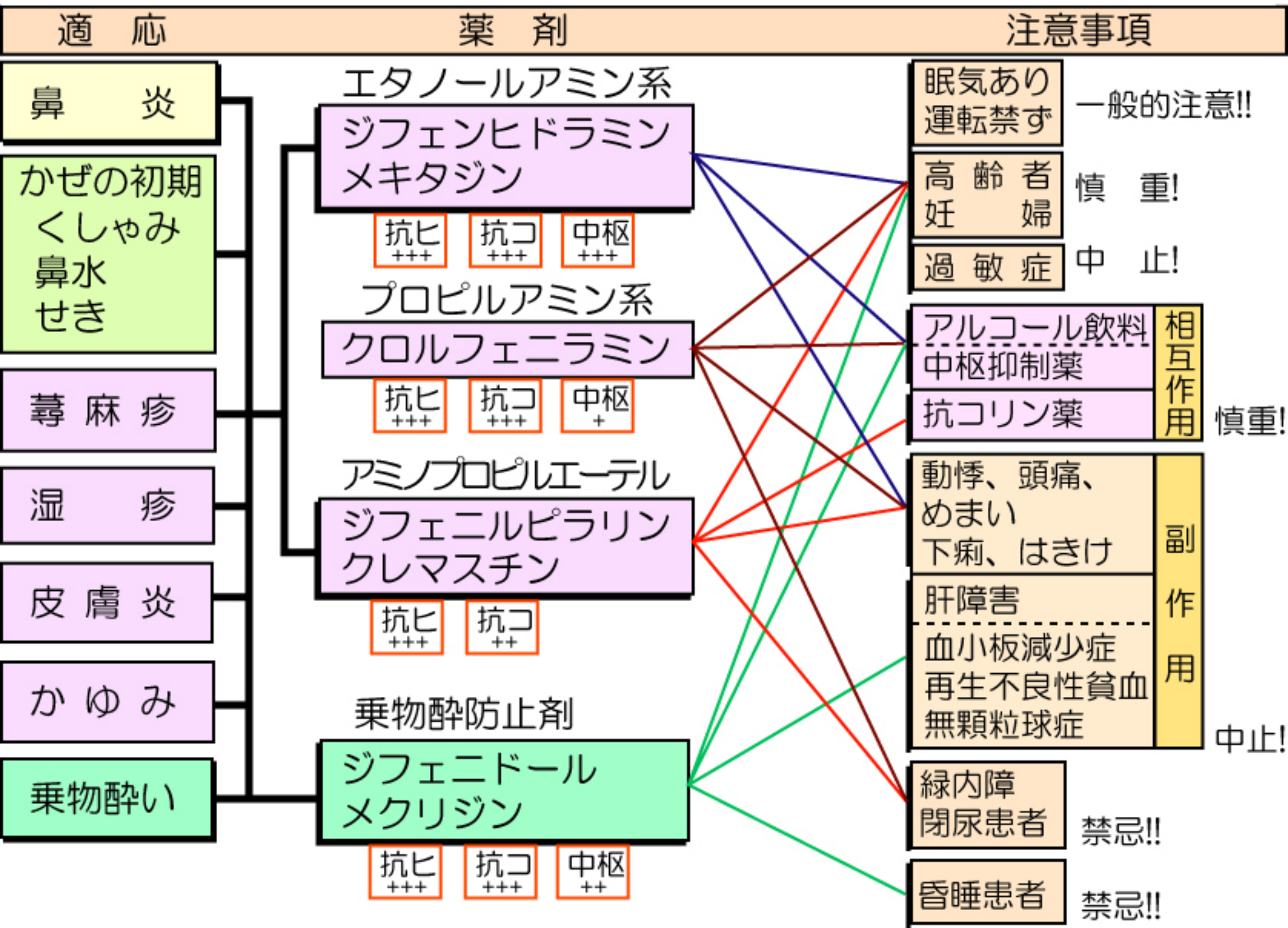
機械的受容体、
化学的受容体
で刺激を感知する。

求心路

延髄の咳中枢

遠心路

声門、肋間筋、
横隔膜が機能
して、咳を出す。



中枢性鎮咳薬

クロペラスチン
ジヒドロコデイン

アドレナリン作動薬

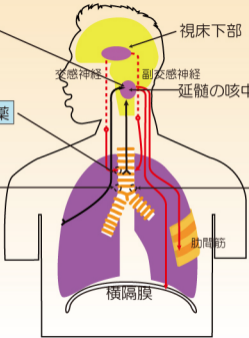
メチルエフェドリン

平滑筋鎮痙薬

シプロフィリン

抗ヒスタミン薬

クロルフェニラミン



視床下部

交感神経

副交感神経

延髄の咳中枢

肋間筋

横隔膜

気管支を広げる成分

アドレナリン作動成分

塩酸メチルエフェドリン、メチルエフェドリンサッカリン塩、塩酸トリメトキノール、塩酸メトキシフェナミン、麻黄等

心臓病、高血圧、糖尿病又は甲状腺機能障害の診断を受けた人では、症状を悪化させるおそれがある。

自律神経系を介さずに気管支の平滑筋に直接作用

シブロフィリン等のキサンチン系成分

甲状腺機能障害又はてんかんの診断を受けた人では、症状の悪化を招くおそれがあり

痰の切れを良くする成分

気道粘膜からの分泌を促進する作用

グアイフェネシン、グアヤコールスルホン酸カリウム、クレゾールスルホン酸カリウム、塩酸プロムヘキシン等

中枢神経系に作用して咳を抑える成分

延髄の咳嗽中枢に作用するもの

○麻薬性鎮咳薬

リン酸コデイン、リン酸ジヒドロコデイン半夏など

○非麻薬性鎮咳薬

ノスカピン、塩酸ノスカピン臭化水素酸デキストロメトルファン、ヒベンズ酸チペピジン、リン酸ジメモルファン、塩酸クロペラスチン、フェンシソ酸クロペラスチン等

胃腸の運動を低下させる作用があり、便秘を起こすことがある。

炎症を和らげる成分

気道の炎症を和らげることを目的

塩化リゾチーム、トラネキサム酸、グリチルリチン酸二カリウム、カンソウ等

ショック（アナフィラキシー）や皮膚粘膜眼症候群、中毒性皮膚壊死症のような重篤な副作用を生じることがあり、また、鶏卵アレルギーの既往歴がある人では使用を避ける必要

